

S+i

SAKURA innovation



櫻丘広報

SAKURAGAOKA-NEWSLETTER



CONTENTS

卒業証書授与式	1
各賞一覧	2
卒業生の言葉	3
進路状況・合格者インタビュー	5
修学旅行	7
校外教育	11
探究学習	12
櫻丘ニュース	13
行事予定	15

No. 217
2025.3

日本大学櫻丘高等学校



Graduation

日程:令和7年3月1日(土) 場所:百周年記念館

第64回 卒業証書授与式



令和7年3月1日(土)、日本大学文理学部百周年記念館にて、第64回卒業証書授与式が挙行されました。今年度も通常通りの形態で開催することができ、多くの保護者の皆さまにもご列席いただくことができました。また、生徒全員の呼名も行われ、生徒たちの心に残る大変素敵な式となりました。

本校での3年間、生徒たちは自分たちにできることを考え、精一杯取り組み、大きく成長してくれました。そんな生徒たちを、学校として誇りに思います。そして、新たな一歩を踏み出す本校の卒業生たちが、それぞれの場所で活躍してくれることを信じています。卒業生の皆さん、本当にご卒業おめでとうございます！皆さんの今後の人生に幸多からんことを、教職員一同心からお祈りいたします。



Awards

第64回 卒業証書授与式 各賞一覧



学内からの表彰

卒業証書

卒業生 496名 〈総代〉 中安 彩乃

日本大学学長賞(学業部門)

金端 佑典

優等賞

24名 〈総代〉 市川 結菜

クラブ活動功労賞・努力賞

〈総代〉 小西 湧太郎

文系

高橋 優奈・宮崎 二葉・森田 真斗・矢作 元音
山川 陽翔・荒牧 祥太・河内 恵太・木澤 七海
高田 かれん・日向 葵・森屋 綺・手坂 緑里
青木 和馬・難波 佑衣・益子 樹里・三宅 うらら

クラブ活動功労賞

小西 湧太郎(陸上競技部)
関東高等学校陸上競技大会 13位／24人

理系

並木 洋哉・金端 佑典・黒澤 青空・伊藤 太一
大場 杏樹

クラブ活動努力賞

江塚 知里(テニス部)
高橋 亜怜(スキー部)
礒部 沙和(スキー部)
山本 和真(ゴルフ部)
安東 悠羽太(ゴルフ部)
島村 和真(ゴルフ部)
山川 智矢(ゴルフ部)

皆勤賞

46名 〈総代〉 河内 恵太

精勤賞

98名 〈総代〉 益子 樹里

学外からの表彰

〈総代〉 矢作 元音

東京都知事賞 副賞:東京都私学財団賞(奨励賞)

矢作 元音

日本私立中学高等学校連合会賞

高辻 里玖

東京都高等学校体育連盟及び東京都体育協会(体育優良生徒)表彰

小西 湧太郎・田中 愛妃

東京都吹奏楽連盟理事長賞

照井 可楽子

東京私立中学高等学校協会第8支部(生徒部委員)表彰

宮地 花奈

東京都私立中学高等学校協会第8支部(体育優良生徒)表彰

田澤 虎太郎・金子 真優



Students' Voice

卒業生の言葉

3年間を振り返って

4組 北折 日和

私が入学して3年間過ごし、一番に伝えたいことは「感謝」です。特に、自分のことを大事に想ってくれている家族や部活動の仲間、友人、お世話になった先生方などすべての方に感謝を伝えたいです。勉強や部活動、日々の学校生活以外のことなど、いつも私は周囲の方々に支えてもらってきたのだと改めて感じます。

この高校3年間で私はこれからの人生で必要なことをたくさん学びました。勉強では今まで課題や授業態度などで、様々な先生方にご迷惑をおかけしました。しかし先生方は、そんな私を見捨てずに教えてくださったので、大学の進学先も決まり、ここまで来られました。

部活動では、仲間や顧問の先生方に多くのことを学びました。私が入部したときは馴染めるのか不安でいっぱい、辞めようかなと思ったこともありましたが、しかし続けていくうちに、みんなと打ち解けていき、今では仲間全員と遊びに行ったりする仲になりました。初めての合宿では、とても厳しく叱られることもたくさんありましたが、み

んなで困難と一緒に乗り越えたおかげで、さらに絆が深くなり、みんなへの感謝の気持ちがより強くなりました。また、合宿を最後までやり抜けたことも仲間がいたからだと思います。

学校行事では、いつもバラバラに行動しているクラスの人々と、一つの目標に向かって努力することの素晴らしさを学びました。そして、みんなに対して楽しい時間を過ごしてくれたことに対して感謝の気持ちを伝えたいです。

今では楽しかった出来事は過去で、良い思い出話になっていくだろうけど、これからもこのような過去を作っていきたいなと思います。私たちは過去の日を思い出すのではなく、過去の出来事を思い出す。そしてここまで支えてくださった方々に感謝を伝えたいです。またこれからは、行動でも感謝の気持ちを伝えていきたいです。本当にありがとうございました。



0学期

6組 長崎 凌大

3学期のことをよく次の学年の0学期として表されることが多いが、学生生活という時間は自分の人生の0学期であると考えている。

早い、あまりにも早い。やっている最中は時間が長く感じるのに終わってみると短く感じる現象は何なのだろう。体験する出来事の数が多かったからか、代謝が激しいからか、ジャンナーの法則の影響もあるだろうか。ジャンナーの法則とは、年齢を重ねるほど1年が短く感じる現象のこと。私たちはこれからどんどん1年が短く感じることを見越して生活しなければならない。

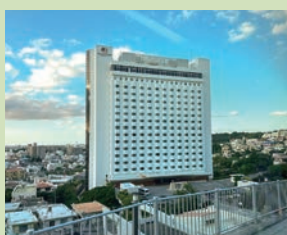
高校の3年間は初めての体験が多すぎた。文化祭に体育大会、音楽の授業でギターを触ったことも良い経験だった。その中でもやはり一番の思い出は沖縄での修学旅行だろう。今回はその話をしようと思う。

私たちは修学旅行で沖縄を訪れた。そこはすべてが初体験の場所で、移動中のバスの中から覗くうろこ雲もなんだか面白く思えた。出会う人皆がフレンドリーでその優しさには感動を覚えるほどだっ

た。沖縄の観光タクシーで班別研修を行った際に、私がタクシー内に扇子を落として忘れてしまった。すると翌日にタクシードライバーの方が、ホテルまで扇子を送り届けてくれたのだ。そのときの感謝の気持ちは今も忘れてはないし、人への思いやりの大切さをしっかりと学ばせていただいた。

この沖縄修学旅行で学んだことを可視化することは難しい。だからこそ今後の人生で行動に移すことが必要である。

改めて私は学生までの期間は人生の0学期だと考えている。これまでに学んできた様々なことを世の中に還元したり、後の世代に引き継いだりしなければならない。私はこの3年間でまた大人の階段を何段か登れたことであろう。これからもその階段を転げ落ちることなく、這いつくばってでも登っていく。



3年間を振り返って

8組 益子 樹里

私はこの高校に入学して自分の世界が大きく広がりました。中学校では、周りの環境が大きく変わるきっかけもなく、単調な生活でした。しかし高校に進学してからは、生徒数が倍増した新しい環境の中で、それぞれの分野で頑張るたくさんの人と出会い貴重な体験を重ねることが出来ました。

特に印象深いのは、2年生の夏に参加した英国語学研修です。この研修は私にとって初めての海外体験であり、英語を使って異文化を学ぶ貴重な機会でした。ホストファミリーの下でのホームステイでは、英会話の実践だけでなく、日常生活を通じてイギリスの文化や習慣に触れることが出来ました。日本とは違う人々の雰囲気や、研修中に私たちをサポートしてくれた現地で働く日本人スタッフとの交流は、私の英語学習へのモチベーションを更に高めてくれました。そして、帰国後は英語がもっと好きになり、将来海外で働きたいという夢が芽生えました。

また、高校生活を通じて出会った様々な友人たちも、私の視野を広げる大きな要因となりました。中学校では同じクラスメイトとだけ

過ごす日々でしたが、高校では異なる背景や趣味を持つ友人と関わる機会が増えました。中には将来の夢を明確に持ち、それに向けて自分なりの努力をしている人もいて、自分も頑張ろうと前向きな気持ちを持つことが出来ました。

部活動では吹奏楽部に所属しました。先輩たちは楽器の技術だけでなく、リーダーシップや仲間とのコミュニケーション能力も優れていて、自分が目指したい将来の姿を明確に考えられるようになりました。定期演奏会やコンクールで味わった達成感や感動からは、努力することの大切さや仲間との協力の重要性を学びました。

以上の経験は私の人生において大きな財産となりました。私の高校生活を彩ってくれたすべての人、経験に感謝しています。



平凡な高校生活

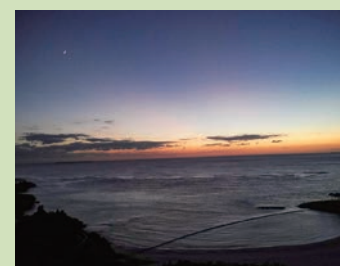
11組 臼井 陸貴

僕の高校3年間はとても平凡だった。中学校の自分が漠然と思いついてた高校生活とは、決して同じではない気がする。そして、自分自身も何かが変われると思っていたが、今思い返せばあの頃から何も成長していないかもしれない。

ただ、そんな平凡な生活の中にも、幸せだと感じる瞬間は何度もあった。高校2年生の修学旅行のとき、今にも眠りそうになるのを我慢しながら夜中まで語り合った。あの時見た星空は今でも鮮明に覚えている。普段の学校生活でも、そういう瞬間はたくさんあった。自分から話しかけるのが苦手な僕に、毎日のように話しかけてくれる友達も、3年間で何人かいた。自分の感情を素直に出せないから、あまり伝わってなかったかもしれないけれど、いつも救われていた。そして、毎日の登下校をともにする友達もいた。楽しいことも、

時には楽しくないことも、すべてありのままに話せて、話が尽きることはなかった。でも、今思い返してみると思いつくことは意味の分からない馬鹿みたいな話ばかりだった。ただ、それが毎日楽しかった。

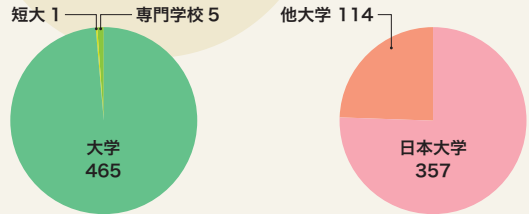
こうして振り返ると、自分の感じていた平凡な生活の中には、色々な幸せの感情が存在していた。あの頃思い描いていた高校生活とは違っていたのかもしれないけれど、この平凡な生活は間違いなく充実したものであった。僕は、平凡も良いことであると気付くことができた。そして、それに気付けたようになったことが、あの頃より成長したことを示しているのだと思う。



Graduates 進路状況・合格者インタビュー

進路状況 (令和7年3月17日現在)

進学総計 ▶ 471名



進路状況総計

	日大	他大	合 計
学部	357	108	465
短大	0	1	1
専門学校	0	5	5
大学校		0	0
専門職大学		0	0
通信教育	0	0	0
海外進学		0	0
就職			0
合計	357	114	471

日大進学状況

	推薦	総合型・公募・指定校	一般	合 計
学部計	344	0	13	357
短大	0	0	0	0
専門学校	0	0	0	0
通信教育	0	0	0	0
総合計	344	0	13	357

他大学等進学状況

	指定校	総合型・公募	一般	合 計
学部計	45	21	41	108
短大	0	1	0	1
専門学校	2	1	2	5
大学校	0	0	0	0
専門職大学	0	0	0	0
通信教育	0	0	0	0
総合計	47	23	43	114

合格状況

大学

東京都立大学	1	星薬科大学	1	聖徳大学	1
早稲田大学	4	昭和薬科大学	1	玉川大学	1
慶應義塾大学	1	東京薬科大学	5	帝京大学	5
上智大学	7	明治薬科大学	3	帝京科学大学	1
東京理科大学	2	聖路加国際大学	1	帝京平成大学	1
学習院大学	10	日本赤十字看護大学	1	東海大学	7
明治大学	9	多摩美術大学	2	東京医療保健大学	3
青山学院大学	18	武蔵野美術大学	1	東京医療学院大学	1
立教大学	10	亜細亜大学	1	東京家政大学	1
中央大学	16	大妻女子大学	2	東京経済大学	1
法政大学	30	神奈川大学	1	東京工科大学	4
立命館大学	1	環太平洋大学	1	東京女子医科大学	1
立命館アジア太平洋大学	1	北里大学	3	東京電機大学	1
成蹊大学	15	杏林大学	3	東京都市大学	1
成城大学	7	工学院大学	1	東京農業大学	3
明治学院大学	8	駒沢女子大学	2	東邦大学	2
国学院大学	2	実践女子大学	1	東洋学園大学	1
武蔵大学	2	芝浦工業大学	1	文教大学	4
東洋大学	12	順天堂大学	4	武蔵野大学	5
駒澤大学	1	昭和医科大学	1	明星大学	3
専修大学	2	昭和音楽大学	1	目白大学	2
東京女子大学	4	昭和女子大学	3	情報経営イノベーション専門職大学	1
日本女子大学	1	聖心女子大学	1		

日本大学進学状況

学部 4年制

	基礎学 力選抜	付属特 別選抜	国公立 併願 方式	追加 募集	付属推 薦進学 総計	総合型 公募	一般 入試	進学 総計
法学部	43	16			59		2	61
法学部(二部)					0			0
文理学部	63	7			70		2	72
経済学部	44	19			63		4	67
商学部	44	6			50		1	51
芸術学部	16				16			16
国際関係学部	1				1			1
危機管理学部	4				4			4
スポーツ科学部	2				2			2
理工学部	18	14			32		1	33
生産工学部	7	2			9		1	10
工学部					0			0
医学部					0			0
歯学部					0			0
松戸歯学部					0			0
生物資源科学部	22	12			34		1	35
薬学部	4				4		1	5
学部計	268	76	0	0	344	0	13	357

短期大学部

	基礎学 力選抜	付属特 別選抜	国公立 併願 方式	追加 募集	付属推 薦進学 総計	総合型 公募	一般 入試	進学 総計
短大三島					0			0
短大船橋					0			0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0

専門学校

	基礎学 力選抜	付属特 別選抜	国公立 併願 方式	追加 募集	付属推 薦進学 総計	総合型 公募	一般 入試	進学 総計
看護専門								0
歯)歯科衛生								0
歯)歯科技工								0
松戸)歯科衛生								0
合 計						0	0	0

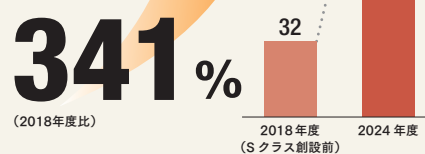
短期大学

有明教育芸術短期大学	1
------------	---

専門学校

国際文化理容美容専門学校	1
慈恵看護専門学校	1
東京モード学園	1
東京総合美容専門学校	1
HAL東京	1

国公立・早慶上理・
GMARCH 関関同立の
合格者大躍進!



日大編 合格者インタビュー



則竹 志誠

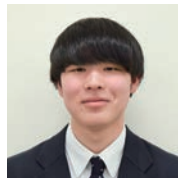
日本大学 文理学部 史学科

Q1 櫻丘を選んで良かったことを教えてください。

自然と英語の能力が身に付いていたことです。特に1、2年生の時にあったALTの授業は、あまり話すことの無い海外の方との交流の場で、実践的な英会話能力が身に付きました。普段の英語コミュニケーションの授業でも、長文読解を時間をかけて品詞分解などをしていただいたので、英検やTOEIC®など外部でも役に立つ読解能力が身に付いたと思います。日櫻はとても「使える英語」に力を入れていると感じました。

Q2 勉強のモチベーションを保つためにやってきた工夫を教えてください。

勉強時間を友達と共有できるアプリを活用したことです。



黒澤 青空

日本大学 文理学部 教育学科

Q1 自分の夢を叶えるために、どのようなことをしてきましたか。

私には教師になるという夢があります。これを読んでいる人にも様々な夢があると思います。どの夢にも共通して言える叶えるために必要なこと、それは夢を追い続ける勇氣を持つことだと思います。誰かにお前には無理だと言われようと、思うように結果が出なかつようと、努力することをやめず、最後まで追いつければいつかは叶います。自分を信じてこれからも頑張っていこうと思います。

アプリを入れたことで「これだけ友達が勉強してるから」と友達の何倍も勉強してやろうという気に勝手になりました。また、週に1、2日何も勉強しない日を設けることで、中途半端な勉強をすることなく、メリハリをつけた学習を心がけていました。

Q3 工夫した勉強方法はなんですか。

自分が将来教職を目指していることもあり、「人に教えながら自分も学ぶ」という学習法をやっていました。人に教えることは自分が深く理解していないとできないことであり、人に教えることで自分自身も復習になりました。テスト期間は、自分の得意な日本史や数学を放課後残って友人たちに教えたり、一問一答を作ったりしました。

Q2 これから受験を控える後輩へ向けたメッセージをお願いします。

これからの受験について色々な考えがあると思う。「落ちて大学行けなかつたらどうしよう。」「今まで勉強サボってきたけど間に合うかな。」そんな決して拭うことのできない不安と杞憂が嫌でも付き纏ってくるでしょう。でもどうか忘れないで。未来は過去の集積によって出来るものだよ。高校生活を笑って終われるように、自分には何が必要で何をしなければならぬのかをしっかりと見極めて適度に息をつきながら頑張てね。

他大編 合格者インタビュー

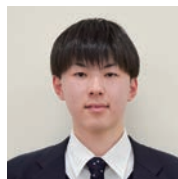


市川 結菜

東京都立大学 人文社会学部 人間社会学科

Q1 勉強をするうえで意識していたことはありますか？

私は塾に通っていなかったので、1日の計画をしっかりと立ててから勉強をするように心がけた。いつまでにこの参考書が終わらせたいのかを考えて、そこから逆算して1日何ページやればいいのかをはっきりさせれば、やる事が明確になって勉強に取り組みやすくなるのでおすすめ。また、1日に小さな目標を立てて取り組めば、達成感を得ることができてその先の勉強するモチベーションにつながるの、ちょっとしたことで目標にするといいと思う。



大平 陸斗

中央大学 法学部 政治学科

Q1 受験期の1日の時間の使い方を教えてください。

自分は高校2年生の夏休みから塾に入り、冬休み明けから本格的に受験勉強を始めました。高2～3年1学期までは約5～6時間、休日は7時間程度勉強をしていました。夏休み以降は平日8時間～9時間、休日10時間くらいはほぼ毎日やっていました。ただそんな日々を続けているとやはり心身ともに厳しいときがあるので、自分は2週間に1回全力で休む日(勉強を一切しない日)を作ってメリハリをつけていました。



一木 陽太

明治大学 理工学部 物理学科

Q1 志望校合格のために、どのような努力をしましたか。

自分で勉強計画を立てることとその計画を継続することを頑張りました。私は塾に通っていませんが、先生方のサポートがあり、休みの日に学校で勉強することができたので、集中できる環境に恵まれていました。そのため計画を立ててやるべきことをやるだけだったので、受験に対する不安を抱くことなく勉強することができました。

Q2 受験を乗り切る「コツ」を教えてください。

受験はまず「勉強を楽しいと思えるようになること」が最も重要です。この意識は勉強をしない限り得るのは難しいと思います。無理にそう感じる必要はないですが、体験として勉強を楽しくやっている人の方がモチベーションも成績も高かったと感じます。また「自己統制」も受験においては大切です。合格という目的のためにどれだけ自分の全てを賭けられるかが、限られた時間の中でライバルと差をつける鍵となると思います。

Q2 これから受験を控える後輩へ向けたメッセージをお願いします。

息抜きは大事にしたほうが良いと思います。私は1日の勉強が終わったら録画していたバラエティ番組を見てストレス発散をしていました。勉強計画を立てるとき、勉強を詰め込みすぎると計画が破綻する恐れがあるので、勉強のことを一切忘れる時間を作るのも良いかもしれません。



市内研修



ユニバーサル・スタジオ・シンガポール

School Trip

日程: 令和6年【A組】12月5日(木)～10日(火) 【B組】12月6日(金)～11日(水) 【C組】12月7日(土)～12日(木)
場所: シンガポール・マレーシア

第2学年 修学旅行



シンガポール到着

櫻イノベーションが掲げる「グローバル教育×ダイバーシティ」の一環として、今年度の第2学年は全生徒が海外での修学旅行となりました。

現地大学生との市内班別自主研修(B&Sプログラム)では、自分たちで計画した研修地を訪れ、シンガポールならではの文化や雰囲気を大いに感じることができました。また、マレーシアの学校交流では、同世代だからこそできる交流を通して、価値観の多様性を肌で感じ、柔軟な

国際感覚や友好の精神を養う様子が見られました。その他にも、ナイトサファリやユニバーサル・スタジオ・シンガポール、リパークルーズなど、現地の魅力を目一杯堪能する中で、生徒たちは友人との仲を深め、たくさんの思い出を作ることができたようです。

生徒たちの溢れる笑顔を見られたことを、教員一同嬉しく思います。



ユニバーサル・スタジオ・シンガポール



市内研修



マレーシア学校交流



ナイトサファリ

「修学旅行を通して」

A班 10組 福原 茉莉花

高校生活における最も大きなイベントである修学旅行が終わった。終わってしまった寂しさと、修学旅行での楽しかった思い出が交わり、今は余韻が抜けない。

シンガポール・マレーシアは初めて訪れる国で、行く前からとても心が躍っていた。シンガポールについては、マーライオンくらいしか知識がなかったが、探究やLHRの時間に調べていくうちに、綺麗な景色・場所にどんどん惹かれていった。しかし、楽しい気持ちだけでなく、かなりの不安もあった。海外での経験は、住んでいたこともあり、おそらく他の人より豊富であると思う。しかし、それには毎回、親がいてくれた。私一人での海外経験はない。親がいつもやってくれていたことを見ていたからこそ、自分一人になったときに同じようなことができるか、トラブルなく修学旅行を終えることができ

るか、不安な気持ちでいっぱいであった。しかし、そんな気持ちもすぐに忘れるほどに、トラブルなく、楽しく修学旅行を終えられた。特に私が最も心配していた英語での会話は、うまく文法に当てはめられなくても伝えようとすれば相手は理解してくれたため、思い描いていたよりずっとたくさんの会話をすることができた。

修学旅行中、頼れる親や大人が周りにいないとなると、自分や友達だけで行動しなければならないので、不安が募ってしまうこともあった。しかし、無駄な心配をして何もしないよりも、せっかく海外にいるのだから色々なことを経験した方がよいと分かった。これはきっと、親に頼りきりの海外旅行では理解できず、修学旅行だったからこそ理解できたことだと思う。私はこのことを忘れずに、心に残しておきたい。

「修学旅行を振り返って」

B班 2組 松岡 美月

シンガポールでの5泊6日はとても短く感じられた。東京23区とほぼ同じ大きさの島では日本では経験できないことばかりで、密度の濃い時間を過ごすことができた。シンガポールには親切な人がたくさんいた。特に印象的だったのはユニバーサル・スタジオ・シンガポールの飲食店で出会った店員さんだ。私は小銭を使いたかったが、見慣れない硬貨に手間取っていた。すると店員さんは「Lend me」と言って小銭を1枚の2ドル札に両替してくれた。私は最初何のためにしてくれたことなのかよくわからなかったが、少し時間を置いてから店員さんの親切に気が付いたとき、その心遣いに感動した。その一方、シンガポールでの1週間は自分の英語力のなさを痛感するものであった。私がアトラクションに並んでいると、ある家族に英語で何か聞かれた。どうやら「これは楽しいアトラクションですか?」と聞かれたようだが、私はそれを咄

嗟に理解できずに同じ班の友人に頼ってしまった。他にも『ウォーターワールド』というショーを見た。やはり英語が理解できないことで何となくでしか楽しむことができなかった。もし英語が理解できていたらもっと楽しめただろうなと思うと少し悔しい気持ちになる。現地の人たちと会話らしい会話はあまりできなかったが、「Thank you」の大切さを改めて感じた。英語が上手く話せなくても「Thank you」と目を見て笑顔で話すようにすれば、相手も笑顔で返してくれる。少しではあるがコミュニケーションが取れることに喜びを感じた。

今回の修学旅行は旅行を楽しむ一方で、英語を学ぶことの大切さを知ることができた。英語が使えるようになれば、より世界の事を知れて、自分自身も楽しむことができるようになる。いつか海外に行くときにもっと世界を堪能できるよう、英語力の向上を目指していきたい。

「修学旅行を通して学んだこと」

C班 5組 石井 夢佳

私は今回の修学旅行を通して学んだことが2つある。1つ目は勉強することの重要性だ。私たちは普段学校に行き当たり前のように授業を受けているが、勉強する意味というものをあまり考えてこなかった。私は数学や理科など将来何の役に立つのだらうと思うことも理由もなく学んできた。しかし今回の修学旅行を通して勉強する意味がわかった気がした。バスの中でガイドさんがシンガポールの色々なことについて解説してくださり、シンガポールの色々なことを知ることができた。それは私が数学や理科などを学んできたお陰だと思っている。私が学んできたのは日本についてだが、それは海外に行っても通用することで、勉強してこなかったら修学旅行で何も学ぶことができなかったと思う。数学や社会を学んでいたからこそ日本円からシンガポールドルへの変換ができ、英語や国語を学んでいたからシンガポールへ行っても会話できた。私は今回初めて海外に行き英語に限らずいろいろ

な教科を勉強してきて良かったなと思ったと同時に今後色々なことについて学んでいきたいと強く思った。

2つ目は「郷に入っては郷に従え」という言葉の意味を経験を通じて感じることもできた。シンガポールに行った日、私は常に日本に帰りたと思っていた。今思えば日本とシンガポールを比べ、全てに対し「日本の方が…」と考えていたからだと思う。しかし日が経つにつれ私はシンガポールを好きになっていった。シンガポールと日本を比べるのではなく、こういう国だと受け止める思考へ自然と変換していたからだ考える。「郷に入っては郷に従え」という言葉は元々知っていたがこんなにも言葉の意味を理解したのは初めての経験だった。

今回の修学旅行で私は初めての経験をたくさんし、様々なことを学ぶことができたので、これからも活かしつつもっとたくさんのことを学び続けたい。



Extracurricular Activities

日程:令和6年12月12日(木) 場所:鎌倉

第1学年 校外教育



令和6年12月12日(木)に、第1学年は古都「鎌倉」にて校外教育を実施しました。今回の校外教育は当日までにクラス内で班を編成し、予めiPadを活用しながら見学場所やコースの選定を行う形式を取りました。何度か行ったことのある生徒もいたようですが、改めて鎌倉の文化や歴史を感じることができ、併せて班で協力することの大切さを学んだようです。また、来年度の修学旅行に向けての予行演習にもなったようです。



Sakura Learning

探究学習

これからの社会においては、答えのない課題に対して自分なりに学び、考え、自分なりの答を導き出していく力が必要不可欠です。本校では、そうした力を身につけるべく、櫻イノベー

ションの柱の一つに「クリティカルシンキング×プレゼンテーションリテラシー」を据え、様々な探究学習の機会を設定しています。

第1学年 探究学習

第1学年では、グローバル教育×探究学習として、クラスごとに英字新聞を作成するという活動を行いました。高校英語を学び始めて1年目の生徒たちですが、一生懸命クラスで協力して、大人顔負けの新聞が完成したようです。

また、2学期からは、企業活動を題材として地域の課題解決を考える新しい探究学習のプログラム「locus」に取り組んできました。今回は学校の近くの身近な地域について各班に分かれて探究活動を行い、「自ら考え、問いを立てる力」や「事例から情報を集め表現する力」などを身につけることができました。



第2学年 探究学習

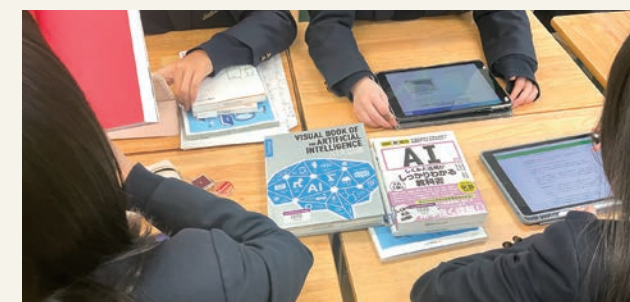
第2学年では3学期から、キャリア教育×探究学習として、「志望理由の組み立て方」をテーマとした取り組みを行いました。これまでの自分の経験を振り返り自身の強みを見出す「自己分析」はもちろん、グループワークを通して自分自身では分からない側面を理解する「他己分析」も行い、多くの気づきを得られる機会となりました。

また、企業面接を模した「模擬面接」もクラスごとに実施し、面接官役・就活生役を経験する中で、企業が求めている力や人物像などについても考えを深めることができました。生徒たちは、大学進学がゴールではなく、その先の将来も見据え、さまざまな経験を重ねることの重要性をしっかりと理解できたようです。



第3学年 特別授業

第3学年の進路決定者を対象に12月から特別授業を実施しました。この特別授業は、「社会をよくするために自分たちがどのようなことに取り組むことができるのか」というテーマについて、グループに分かれて調査・討論を行い、最終的にクラスで発表を行うというものです。生徒たちは、積極的に調べ学習を行い、活発に議論する様子が見られました。また、プレゼンテーションにおいては「PowerPoint」や「ロイロノート」、「Canva」などのアプリを活用し、相手に伝わりやすい発表になるよう工夫を凝らしていました。特に各班独自のアニメーションやグラフィックを用いて発表に望む姿は大変印象的でした。



TOPICS!
進路だよりを
活用しよう

本校の進路指導部では、定期的に『進路だより』を発行しています。『進路だより』には、入試の最新情報や模試の案内、科目選択の重要性など、各シーズンに合わせた様々な情報が掲載されており、皆さんが進路を考える上で大変参考になるものです。毎回皆さんにも配布していますが、右のQRコードからバックナンバーも確認できますので、ぜひ活用してみてください。



Sakuragaoka News 櫻丘ニュース



12月・3月 生徒会企画検討会

12月18日(水)と3月12日(水)、生徒会代表生徒による企画検討会が行われました。
この検討会は、来年度の生徒会行事をより充実したものにするため、また全生徒に楽しんでもらえるものにするために実施されています。
当日は、学級委員会・整備美化委員会・文化祭実行委員会・体育大会実行委員会・部活動代表委員会の代表生徒が、来年度の行事について真剣に考え、積極的に議論を交わしながら、各行事の内容を深め合いました。



1月 ニュージーランド長期留学出発

1月13日(月)に第1学年の生徒2名がニュージーランドのオークランドへ出発しました。留学先のオークランドは国際色と多様性が豊かな都市部と、自然に富んだ郊外を兼ね備える土地です。現地ではホームステイを行いながら現地校に通い、授業、課外活動を行うことで文化・学問を学びます。約1年後、様々な経験を積み成長した姿を見せてくれることが楽しみです！



1月 公認会計士・税理士入門講座

1月14日(火)、資格の大原より講師の方をお招きし、公認会計士・税理士入門講座を開講しました。この講座は、第3学年の進路決定者のうち、希望者を対象に開講されたもので、当日は41名もの生徒が参加をしました！
講座では、大学におけるキャリア教育や難関資格奨励金制度・単位認定制度の現状、また簿記学習のメリットや公認会計士・税理士の魅力・なり方など、まさに参加した生徒が関心を寄せる内容をたくさんお話いただきました。生徒たちは、早くに進路が決まったからこそできることを再確認したようで、大学入学に向けたモチベーションをおおいに高めている様子でした。

1月 共通テスト自己採点

1月18日(土)、19日(日)の2日間、大学入学共通テストが実施され、本校からは約80名もの生徒が受験に臨みました。翌日には本校にて自己採点が行われ、自分たちの結果を振り返っていました。受験生達はしっかりと結果を受け止め、各大学の一般選抜に向けた意識をより高めている様子でした。

1月 英検学校受験

1月24日(金)、1・2年生全員、3年生の希望者を対象に実用英語技能検定の学校受験を実施しました。生徒たちは原則、自身が持つ級の一つ上を受験しますが、ここ数年は2級を受験する生徒が急増。また、既に2級を取得しており準1級の過去問に挑戦した生徒も例年以上でした。どの生徒も、これまでの学習の成果を発揮すべく、真剣に試験に臨んでいました！



1月 社会人講演会

1月25日(土)、1年生特別進学(S)クラスの生徒を対象に、本校卒業生による社会人講演会を実施しました。
今回は、株式会社ソラシドエアにお勤めの大塚洵輝さんをお招きし、「大学での学び」や「現在の仕事内容」はもちろん、「将来について高校生うちに考えてほしいこと」や「夢を持つことのすばらしさ」などを、ご自身の経験を交えてお話いただきました。
本校を卒業した先輩のリアルなお話は、生徒たちにとっても身近に捉えることができ、自身の将来を考えるよいきっかけになったようです！



2月 第3学年球技大会

2月22日(土)3年生希望者を対象とした球技大会を実施しました！人工芝グラウンドではフットサル(男子)、体育館ではバスケットボール(男子)、日大文理学部百周年記念館ではドッジボール(女子)とバスケットボール(女子)を行いました。卒業式を3月1日に控えた3年生にとって、高校生活最後の素敵な思い出となりました。



Teachers

異動



千葉 幹彦 先生 【地歴公民科】

令和6年度の人事異動により、令和7年4月1日付で日本大学明誠高等学校へ異動となりました。先生は令和2年度より本校に奉職され、5年間にわたり熱心な指導をされてきました。校務分掌では教

務部や生活指導部で活躍され、部活動では野球部・卓球部・男子サッカー部の顧問を務め、本校の発展に大いに貢献されました。先生の新たな活躍を祈念しております。

人事

Schedule Calendar

今後の行事予定

2025

4月

- 7日(月) 入学式
- 8日(火) 始業式・対面式・部活動紹介
- 9日(水) 【1年生】ガイダンス・ネットリテラシー講座
【2・3年生】LHR
- 10日(木) 【1年生】新入生校外教育(12日まで)
【2・3年生】スタディサポート
- 11日(金) 【2・3年生】授業開始
- 14日(月) 【1年生】スタディサポート
- 15日(火) 短縮授業
【1年生】LHR(文理学部キャンパスツアー含む)
- 16日(水) 【1・2年生】基礎学力到達度テスト
【3年生】家庭学習日
- 17日(木) 【3年生】基礎学力到達度テスト
【1・2年生】家庭学習日
- 18日(金) 【1年生】iPad配布
- 19日(土) 保護者会(家庭学習日)
- 21日(月) 【1年生】授業開始
- 22日(火) 健康診断
- 24日(木) 【3年生】午後進路説明会(生徒対象)
- 26日(土) 避難訓練(火災)

5月

- 10日(土) 第1回授業公開 4時間目:生徒会行事(生徒総会)
- 17日(土) 【1年生】4時間目:GAKUTAN
- 19日(月) 教育実習開始(6月7日まで)
- 21日(水) 第1回定期考査(24日まで)
- 31日(土) 【2年生】4時間目:ネットリテラシー講座



6月

- 1日(日) 英検(希望者)
- 4日(水) 【3年生】Gクラス日大チャレンジ模試
Sクラス進研共通テスト模試
- 15日(日) 文理学部体験授業
- 19日(木) 午前:授業 午後:櫻高祭準備
- 20日(金) 櫻高祭準備
- 21日(土) 櫻高祭(22日まで)
- 23日(月) 復元・LHR
- 24日(火) 櫻高祭 代休

7月

- 2日(水) 第2回定期考査
(【1・2年生】5日まで【3年生】4日まで)
- 5日(土) 第1回学校生活アンケート
【3年生】学年行事
- 7日(月) 家庭学習日
- 8日(火) 【1年生】成城警察講話・進路説明会
【2・3年生】LHR
ルーブリック
- 9日(水) 答案返却日
- 10日(木) 家庭学習日
ニュージーランド中期留学出発(9/22帰国)
- 11日(金) 【1・2年生】進研記述模試
【3年生】進研記述模試(S全員・G希望者)
- 12日(土) 面談日(15日まで)
- 14日(月) 英国語学研修出発(29日帰国)
進学相談会(15日まで)
- 16日(水) 家庭学習日
- 17日(木) 【1年生】学部訪問
【2年生】出張講義
- 18日(金) 家庭学習日
- 19日(土) 終業式
- 22日(火) 【1・2年生】夏期講習(26日まで)
- 23日(水) 【3年生】夏期特別講習(31日まで)

行事予定は変更になる可能性があります。詳細につきましては、4月に配布いたします学校行事年間予定表をご覧ください。